

徒然想

すっかり秋らしくなってきました。公園のどんぐりを拾って“やじろべえ”を作って遊ぶ小学生たちが、秋の日差しを浴びて笑っている姿が目に見えてきます。考えてみますと、やじろべえは左右に揺れながらも実にうまくバランスを取って踏ん張っています。その姿に、少々私達の状況も重なって見えます。今、弊社を含めて、私達の業界はやじろべえのように左右に揺れながらも耐えていかなければならない時期のようです。秋風は、やわらかな太陽光の下をくぐり抜けて、金色に輝く恵みの稲穂を揺らして通り過ぎて行きます。やがて来る冬を越せば、また田植えの時期が来ます。そしてイネは育ち、しっかりと太陽に向かって伸びていく季節になります。おいしい新米を食べると、思考がポジティブになる気がします。

TECHNICAL TOPICS KRCの技術情報はこちら

青少年のための科学の祭典

-騒音や振動を数値化できる事を、子ども達に体験してもらうためにサイレントロボ出展-

弊社では、CSRの一環として昨年より「青少年のための科学の祭典 広島大会」(主催:「青少年のための科学の祭典」第15回広島大会実行委員会、(財)日本科学技術振興財団 科学技術館、(財)広島市文化財団 広島市子ども文化科学館)に参加させて頂いています。今年で15回目を数えるこの大会は、子ども達に科学する面白さを伝えていくことを目的に100を超えるブースで実験や工作、サイエンスショーを実施したもので、10月24日(土)～25日(日)にかけて開催されました。

弊社は、10月24日(土)に独自に開発した騒音振動計測の管理システムであるサイレントロボを利用した実験を行いました。この実験は、騒音と振動をロボットの表示パネルにデシベル単位で大きく表示できる機能を利用して、子ども達に騒音と振動の大きさを数値化できるということを実際に体験してもらうというものです。気持ちよく晴れた秋空の下で、たくさんの子ども達が大きな声を出したり飛び跳ねたりしながら



サイレントロボに向かって、大声を出して実験を楽しむ子ども達。



特別仕様のサイレントロボ(左)と、通常のサイレントロボ(右)の設置状況。

実験を楽しんでくれたようです。親子連れの方からは、「声の大きさや地面の振動を数字で見ながら、自分のがんばりとロボットからの距離で値が変化する様子がとても楽しかった。」というコメントも頂けて、大変うれしく思っています。

この実験に使用したサイレントロボは、通常の仕様ではなく「工事現場と地域の皆さまをつなぐためのロボット」というコンセプトで製作した特別仕様です。通常のサイレントロボとは外観が異なるだけで、システム構成や性能は変わりません。一般的な現場で設置することはほとんどありませんが、ご要望があればこの特別仕様のサイレントロボを設置する事も可能ですので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

【サイレントロボの詳細はこちらからご覧いただけます。: http://www.krcnet.co.jp/tech/tech_silentrobo01.html】

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm> で承っております。